

鈴川地区歴史標柱

①佛母山金勝寺



開創は夢窓国師で(1340)初めは臨済宗、山形二代城主欺波直家公の菩提所、中期開山は三光存辰大和尚、以後曹洞宗となる。

②深沢不動尊



不動明王を祀る。近郊近在に鳴り響いた古い不動尊。奥の院には多数の石仏が並ぶ。八龍川の水源地。

③入虚空蔵尊(熊野神社)



1356年(延文元年)斯波兼頼の腹心兼慶が山家村に鎮守として祀る。現社は1754年(宝暦4年)の再建て、神仏分離令後熊野神社を併祀。

⑥真鏡山無量寺



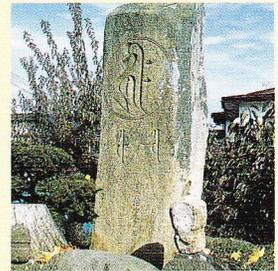
寛文2年(1662)金勝寺九世直震長淳大和尚により無量庵として開山。後に無量寺となる。

⑦鎌倉地藏堂



約400年前に鎌倉から飛来したとの伝承有り、乳房の絵馬があることから有名。子育ての地藏様として信者が多い。

⑧月山行人結衆碑



貞治7年(1227)板碑ともいい600余年前のものであり、月山に登拝する人、即ち月山行人百余人で建立した供養塔。山形県有形文化財に指定。

⑪無量山龍泰寺



昔この寺は東方山麓にあり、現在地に火災により移転したといわれ、その際一緒に移祀した板碑(供養碑)が3基あり、何れも600余年前のもの。境内には八龍権現堂あり。

⑫高原古墳



昭和24年1月末に発見された古墳で、この地の自然石を組合わせた大きな石棺。昭和27年に山形県史跡第1号に指定。

⑬伊豆神社



古くは大日如来を祀り、以前は庵寺もあった。安永年間大山祇神を勧請併祀。

⑯鬼越の地



鬼越の切通しは、昭和13年に、表・川原・浦宿の3宿が工を起し完成した道で、それまでは急で難儀な坂を越えて深沢まで行ったものである。山頂には不動尊や石鳥居等も残存。

⑰高原山の神神社



明治初期の廃仏毀釈で山麓からここに移祀。それまで祀っていた八龍権現を龍泰寺に移して祀っている。鐘撞森に近年新たに再建し二社あり。

⑱龍王山長松寺



山家金勝寺四世の冷室全林大和尚の開山で、寛永年間に建立。1,000年を経た檜で作られた七転八起・福耳で日本一といわれる木彫りの念願成就を祈る年輪達磨が祀られている。

標柱設置箇所

鈴川地区歴史標柱設置箇所

④ 日月山明光寺



大正12年荒川重威師によって日蓮宗東北根本道場・池上本門寺東北別院として開山。昭和57年に本堂、同59年御聖骨堂を改築。平成2年には鎮樓堂が完成。

⑤ 荷渡権現堂



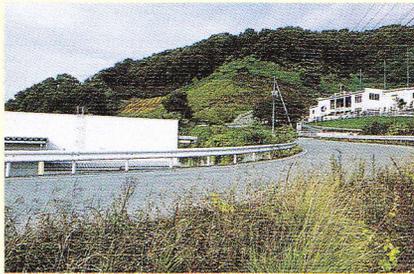
官道笹谷街道の脇道として双月に山道があった。この頃双月や和合・山家等は駅場であつたらしい。交通安全・荷物の無事を祈った神社で双月の鎮守様。

⑨ 国司壇



大野朝臣東人（おおののあそんあずまん）の家臣、原田・深瀬両人を祀った祠。この祠には、保食神（うけもちのかみ）を祀る。ほかに糞神様とも称す。

⑩ 山家城址



山家の館山（野伏山）頂上に城郭があつた。山家河内守（3千石）の居城。山家城は山形城を守る山城の一つ。山頂近くの中腹に今も石垣が残っている。

⑭ 印鑰神明宮



天平9年（737）大野東人が創建。印判と銀の鍵を祀ったところから印鑰と名付けたと言われる。戦前は郷社として鈴川地区全体の鎮守様であつた。

⑮ 川原宿石塔群



享保13年（1733）に建立の十八夜供養塔を筆頭に、法華経塔（一字一石）、珍しい抱瘡神（ほうそうかみ）その他の石塔群が並んでいる。

⑲ 浜田薬師堂



宝暦9年（1681）のとき役所に提出した覚書が残っており、それには、最上義光と思われるご朱印十二石五升を戴いた由緒ある浜田の鎮守様である。別名瑠璃光薬師如来。

⑳ 泰国山宝徳寺



皆川龍門寺の一山寿作大和尚の開山で、寛永の初期に建立されたが、文政7年（1824）に本堂を全焼、安政4年（1857）に再建。

- ② 如意輪観音
- ③ 古峰神社
- ④ 郷土先覚者長谷川利助翁碑
- ⑤ 玉の井
- ⑥ 申洪水庚申塔
- ⑦ 青麻宮
- ⑧ 高原学校跡
- ⑨ 双月山の神社
- ⑩ 本堂城輪明神
- ⑪ にひやくじ遺跡
- ⑫ 日月神社
- ⑬ 算学家酒井政六先生生家
- ⑭ 幕末の侠客和合屋佐吉生家
- ⑮ 阿弥陀堂
- ⑯ 鈴川村招魂碑
- ⑰ 最上坊稲荷神社
- ⑱ 城輪神社
- ⑲ 子守観音堂
- ⑳ 山家堤防跡
- ㉑ 姥神
- ㉒ 大目公稲荷神社
- ㉓ 印役観音堂
- ㉔ 長谷川利助翁生家
- ㉕ 貴福寺跡
- ㉖ 上の原古墳
- ㉗ 高原山の神神社
- ㉘ 古峯神社
- ㉙ 双月堤防修築記念碑
- ㉚ 山家虚空蔵堂
- ㉛ 和合十八夜観音堂
- ㉜ 表宿石塔群
- ㉝ 法華経題目御宝塔
- ㉞ 大野目石塔群
- ㉟ 八貫橋
- ㊱ 和合山の神神社